



YMCA 大阪青年 1.2

2018年1月1日発行
1916年5月1日創刊
発行 / 末岡祥弘
編集 / 大阪 YMCA 広報室
〒550-0001
大阪市西区土佐堀 1-5-6
Tel 06-6441-0894
Fax 06-6445-0297
URL: <http://www.osakaymca.or.jp>

YMCAは挑戦し続ける！



大阪YMCA大会2017 Yボランティアの集いにて

新しい年になると、昨年とは少し違った自分でありたいと反省や期待を込めた思いを抱く。組織においても、前年の成果を検証し改善や改革を行って、さらに進化しようとする。こうした、変革へのエネルギーが弱くなるとうずらは衰退する。

昨夏、「不安な個人、立ちすくむ国家—モデル無き時代をどう前向きに生き抜くか—」と題した、若手官僚による報告書が話題になった。高度成長期に築かれた社会システムや制度、それを当然視する価値観と絡み合っ、変革が生まれない日本の状況を問うている。「早すぎる変化」「変わらない仕組み」「あふれる情報」「見えない将来」の中で、不安や不満が社会を覆っている現状に対する強い危機感がある。

こうした状況は、組織の中にも見られる。変化や革新を提起されても、構成員の意識や行動が伴わなければ、掛け声だけに終わってしまう。

YMCAがVISION2020に掲げるチェンジメー

カーは、社会の在り方や既成の価値観を問い直し、自らと周りを変え、社会に向き合うユースを育てるプロジェクトとして貴重である。

いま大阪YMCAは、人づくりとともに、幾つかの挑戦を通して変わろうとしている。

挑戦の一つは、昨年10月にスタートしたブランディングである。すでに、会館や物品等のマークとデザインは一新された。ブランディングは、YMCAの使命に立ちつつ、時代の変化と社会のニーズに応えるため、全国のYMCAが統一に進める革新運動である。単に、デザインの変更やロゴを新しくするだけではなく、社会と関わる私達の思いと働きを発信するメッセージが込められている。

さらに、大阪YMCAの新しいリーダーシップが、4月からスタートするのも新たな挑戦である。総主事の交代は、変化を生む契機としてブランディングとともに、変革の時代を表している。

第三は、大阪市から受託した公設民営のIB校(国際バカロレア中高一貫校)が、2019年の

開校に向け校舎や教育体制の整備が山場を迎える。中高一貫の公教育を、YMCAが有するグローバルなネットや幅広い実績・豊富な資源を活かして、挑戦する新たな分野である。

また、YMCAボランティアの活性化問題がある。様々な分野で、地道に続けられているボランティアの働きは、YMCA運動の原点であり宝である。YMCA運動の、柱であるこうした活動の担い手を育てて行く工夫が急がれる。

分断や格差の拡がり・複雑で多様な社会のニーズ、YMCAの働きが様々な分野で求められている。ハード・ソフト面を含め、YMCAは自己革新しながら挑戦を続けていく。



大阪YMCA 会長
なかかわ よしひろ
中川 善博

■大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。

- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭・地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人のびとと力を合わせ、環境・人権・貧困の課題に取り組み平和で公正な世界をめざします。

“Active Learning, Active Living”
The YMCA as a hub for Youth Development and Healthy Living
in the 21st Century
-Encounter, Connect, Transform-
(6YMCA協議会) [11/21~23]



The 23rd 6YMCA's Conference
Sponsored by Osaka YMCA November 21st - 23rd, 2017

第23回6YMCA協議会が、11月21日(火)から23日(木・祝)に大阪YMCA主催で開催されました。(6YMCA:ソウルYMCA、台北YMCA、ホノルルYMCA、香港中華YMCA、メトロポリタンシンガポールYMCA、大阪YMCA)

2020年に大阪YMCAがキャンプを始め、100年を迎えることから、キャンプを通して青年をいかに育むかについて協議しました。また、連続してキャンプ100シンポジウムを開催しました。人口構造が変化していく中で、YMCAはキャンプを通して次世代を担う青年を継続して育ててまいります。

新しいキャンプへの挑戦 ~YMCAキャンプ100周年記念事業~ [11/23~25]

大阪YMCAが1920年に六甲山麓で教育を目的とした組織キャンプを実施したのが、日本におけるキャンプの第一歩でした。2020年に100周年を迎えるにあたり、キャンプの持つ可能性を教育の観点から改めて考え再定義し、次の100年へ向けた新たなステップを踏み出す必要があると考えています。今年をキックオフ年として開催した記念シンポジウムでは、キャンプの教育的価値や期待値について行政、企業、教育の違った立場から、自然や仲間との関わりが個々の成長に大きく寄与することなど、その意義について語っていただきました。また「新しいキャンプへの挑戦」として行ったワークショップにおいては、各分野での実践例の報告からキャンプの持つ有効性やこれからの展望について協議の時を持ちました。

これからの時代を生きる子どもたちは、ますますグローバル化が進み、国や民族の違いを超えたつながり、グローバル・コ



六甲山YMCAにて、「新しいキャンプ」の持つ可能性を探ったワークショップが多数行われました。

コミュニケーションが求められます。自ら課題を認識し、自分の能力を引き出して主体的に行動する力、他者を理解し仲間との良い関係性を構築し、社会につながり人生を豊かにしていく力、このような『生きる力』の成長に関わるキャンプの潜在的な力を考え提案していくことが求められています。



嘉田 由紀子さん

第1部ではキーノートスピーカーに嘉田由紀子さん(前びわこ成蹊スポーツ大学学長)をお迎えして、「自然は、生きる教えに満ちている」と題した基調講演を行っていただきました。



加藤 映子さん

鈴木 真由子さん

西庄 功一さん

第2部では、ファンリレーターに加藤映子さん(大阪女学院大学・大阪女学院短期大学学長)、パネリストに鈴木真由子さん(大阪教育大学教授、大阪教育大学附属平野中学校校長)と西庄功一さん(バイエル薬品株式会社 開発本部プロジェクトマネージメント部長)に加わっていただき、パネルディスカッションが行われました。

YMCAでの活動からSDGsを考える
~Yアクターフォーラム報告~

11月23日(木・祝)の大阪YMCA大会の午前中に、Yアクターフォーラムが開催されました。昨年のフォーラムで扱ったSDGs2030(国連で採択された2030年へ向けての持続可能な開発目標)について、今年は大阪YMCAのシニア事業・ウエルネス事業・学校事業が主体となって、認知症・キャンプ・社会的起業の視点からSDGsを考えました。

誰もが住みやすい街をつくるために何ができるのか、豊かな自然を守るためにはどうしたらいいのか、平和で公正な世界を作るためにどんな方法があるのかを参加者それぞれが考え、フォーラムの最後にはYMCAに集う「チェンジメーカー」として今後何ができるかをカードに記載してもらいました。

自身のYMCAでの活動が周りの人を豊かにしていることに気づき、自ら行動を起こすことがいかに大切かを改めて感じることのできる機会となりました。



落ち葉からゴミを探す展示を通して、自然を守るために一人ひとりが行動することを体験しました。
YMCAのデイサービスで行っている頭の体操を実際に体験してみることで、認知症予防について知っていただきました。



社会的企業(ソーシャルエンタープライズ)について、どんな活動があるかを参加者同士で考えました。

「YMCA × SDGs × あなた = チェンジメーカー」となるために、これからどうしたらいいかをフォーラムの最後に書いてもらいました。

<p>YMCA × SDGs × あなた = ?</p> <p>・自然教育を多くの子どもたちに!(学校より深く連携)</p> <p>・みんなが笑顔で暮らす社会!</p>	<p>YMCA × SDGs × あなた = ?</p> <p>・自然環境を自然環境についてよく知る</p> <p>・自分ができることから、行動する</p>	<p>YMCA × SDGs × あなた = ?</p> <p>自分との関わりを通して自分も他の人も周りの人に優しくなれるように</p>	<p>YMCA × SDGs × あなた = ?</p> <p>今自分ができることは何か考え、行動する</p> <p>Make a move!!</p>
<p>YMCA × SDGs × あなた = ?</p> <p>目の前にいる困っている人に手を差し伸べる!</p> <p>まずは自分の手の届く範囲からみんなの幸せ・笑顔を広げたい!!</p>	<p>YMCA × SDGs × あなた = ?</p> <p>子どもから高齢者まで人と人との関わりを持つ!</p>	<p>YMCA × SDGs × あなた = ?</p> <p>みんなが仲良く暮らせる社会をつくる</p> <p>動物と人間が共生できる環境つくりを目指す!</p> <p>スマイルがあふれる社会にする!!</p>	<p>YMCA × SDGs × あなた = ?</p> <p>関わっている子どもたちと互いに相手と大切にすること、そして自分と大切にすることを考える</p> <p>そのことで互いに平和で公正な社会をつくりだす子どもたちを育てる!</p>

Yボランティアの集い

11月23日(木・祝)午後のYボランティアの集いにおいて、以下の方々の表彰や留学生へのYMCA国際奨学金の授与式がもたれ、映像による事業報告や活動報告が行われました。

◆永年継続会員 *長期にわたりYMCA運動に関わってこられた会員の方の表彰です。

- ◎50年継続会員 ・伊藤 圭介 ・北山 弘信 ・高岡 正明 ・前出 孝子
- ◎25年継続会員 ・川良 昌宏 ・木田 泰之 ・伏見 祐子 ・松本 三枝子
- ◎特別表彰 ・障がい者・児ボウリング大会実行委員会
- ・わいわいこどもげきじょう
- ◎10年継続会員 ・有田 和子 ・石橋 恵 ・上床 敦
- ・大里 由恵 ・大村 肇 ・岡本 泰宏
- ・小原 早代里 ・川崎 恵 ・菅 まどか
- ・國津 香織 ・神島 圭子 ・高鶴 佐智子
- ・坂本 かおり ・澤飯 亜由美 ・竹野 華
- ・林 博彦 ・藤田 貴大 ・前田 絵梨香
- ・山口 美帆 ・山田 郁恵 ・山田 弥栄子

◆特別献金感謝 *YMCAの様々な活動のために特別な献金をいただいた方々に感謝状を贈呈させていただきました。

- ・今村 良子 ・鉄谷 明 ・柴藤 滋子 ・藤田 芳章 ・藤田不動産有限公司

(敬称略・50音順)

私のYMCA体験

みつきり、つながり、よくなっていける場所

大阪YMCA国際専門学校国際学科(IHS) スタッフ しん けいすけ 秦佳祐



国際学科(IHS)の創立30周年を記念し、9月23日(土・祝)に記念式典が行われました。在校生や卒業生に加え、歴代の校長や学科長・元講師やスタッフ等、180名以上が集まりました。幅広い世代の参加者が集い、OB同志はもちろん、卒業生と在校生との貴重な交流の場にもなり、ともにIHSの歴史を振り返る良い機会となりました。

式典のI部では2期・11期・19期・21期(私)・23期生のOBが「帰って来られる場所・自分が自分でいられる場所」と題しパネルトークを行いました。在学中の一番の思い出やIHSの自慢できるところ、YMCAでの学校生活が自分たちの人生に与えてくれた影響について語り合いました。その後、新スローガンについて参加者全員でグループワークを行い、自分たちにとっての「みつきり。つながる。よくなっていく。」を考え、共有しました。

今回私はYMCAのいしスタッフ、そして卒業生として、YMCA、そして国際学科の節目となる歴史的瞬間に立ち会えたことをとても幸せに感じました。

中日本地区YMCAグローバル教育研究会

グローバルな課題と私たちの繋がりを捉え、YMCAの活動を通して何ができるかを考える時を持ちます。

日時：2018年2月17日(土)13:00～18日(日)15:30

会場：六甲山YMCA

定員：30名

参加費：8,000円(食事・宿泊費を含む)

ファシリテーター：おくもと きょうこ 奥本京子さん
(大阪女学院大学 国際・英語学部 教授)

問合せ：大阪YMCAグローバル事業推進室
TEL 06-6441-5088

申込締切：2018年2月5日(月)

大阪YMCA 防災セミナーのお知らせ

災害からの被害をゼロにするには、住民一人ひとり「〇〇力」が必要です。「〇〇力」とは何かを共に考えましょう。

「災害への対応力を育む ～「被害0(ゼロ)」のまちを目指して～」

日時：2018年3月24日(土) 13:30～15:30

会場：大阪YMCA会館 10階 101号室

講師：みづら こうじ 三浦浩史さん

(株式会社シャカリハ 代表取締役、
大阪府介護支援専門員研修講師・理学療法士)

申込み：土佐堀YMCA地域活動委員会 担当：藤田

FAX……06-6441-0809

E-mail…fujita-rika@osakaymca.org

「いじめのない世界をめざそう」 YMCAピンクシャツデー2018

今年度も全国YMCAと共に、世界に「いじめ」について考え、いじめられている人と連帯する思いを表す日であるピンクシャツデー(PINK SHIRT DAY)2018を実施いたします。

より多くの人々が意識的かつ継続的に「いじめ」の問題に取り組むための具体的な機会をつくり、同時に、各地域の諸団体・企業、行政などと協力、連携することによって、より広く推進力のある運動を展開し、実効性ある対策へと繋げていきたいと考えています。

ピンクシャツデー当日の2月28日(水)に向けて、YMCA全体でピンク色のアイテムを身に着けたり飾ったりすることで、いじめ反対をアピールしてまいります。また、各事業所ごとにさまざまな取り組みを実施いたします。

皆さまのご協力、ご参加をお願いいたします。

詳細は、Facebookにて発信してまいります。

<https://www.facebook.com/ympcapinkshirtday/>
ピンクシャツデー…2018年2月28日(水)

※取り組み期間…2018年1月～3月3日(土)



【ピンクシャツデーとは】

2007年、カナダでピンクのシャツを着て登校した少年がいじめられました。それを見た2人の生徒が50枚のピンクのシャツを友人・知人に配り、翌日登校します。学校では呼びかけに賛同した多くの生徒がピンクのTシャツを着て登校。学校中がピンク色に染まり、いじめが自然となくなったそうです。そのエピソードがSNSなどで世界中に広まり、今では70カ国以上でいじめに対する活動が行われています。カナダで最初にこの出来事があった日が、2月の第4水曜日でした。それ以降、2月の第4水曜日には私たちがいじめについて考え、いじめられている人々と連帯する思いを表す1日としています。

大阪YMCA早天祈祷会

■第297回 日時…2018年1月19日(金)7:30～8:30

証 みやほら まなぶ し…宮原 学さん
(YMCAサンホーム 施設長)

■第298回 日時…2018年2月16日(金)7:30～8:30

証 いのうえ よしお し…井之上 芳雄さん
(和歌山YMCA 総主事)

場所…大阪YMCA会館 10階 チャペル

会員・賛助会員としてのご協力に感謝申し上げます。

2017年11月度報告・敬称略

【新規会員】

大山優実
神谷喜恵
野間田佳奈
初田知綾子
和田遥香

【継続会員】

石木茉莉
伊藤俊彦
猪瀬正雄
金谷美穂
北山弘信

西澤 颯

松下奈央
松原由佳
松本武彦
松本三枝子
森口葵

【継続賛助会員】

株式会社亀井組
有限会社杉本写真場
レックス工業株式会社

大阪YMCAのホームページで
その他の情報をご覧いただけます。

